

|          |  |
|----------|--|
| 課題名      | 人間ドック健診受診者を対象とした<br>新型たばこと紙巻たばこにおける関連因子の検討   |
| 承認番号     | 番  |
| 研究機関名    | 横浜市立みなと赤十字病院   |
| 研究責任者    | 所属 健診センター 氏名 伊藤 美奈子  |
| 研究期間     | 院長による許可日 ～ (西暦) 2027年8月  |
| 研究の意義・目的 | <p>日本の喫煙率は、厚生労働省が発表した「令和5年(2023年)国民健康・栄養調査結果の概要」によると、男性が25.6%、女性が6.9%です。過去10年間で見ると、男女ともに喫煙者の割合は減少傾向にあり、加熱式たばこが普及してきていますが、最新の統計では下記のように、紙巻きたばこの利用率のほうがまだ高い状況にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●紙巻きたばこのみ利用：男性60.5%、女性56.2%</li> <li>●加熱式たばこのみ利用：男性29.2%、女性35.3%</li> <li>●両方利用：男性9.2%、女性7.0%</li> </ul> <p>加熱式たばことは、専用機器を使ってたばこ葉を直接加熱し、エアロゾル(気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子)を発生させて喫煙する製品です。加熱式たばこにも健康に害を及ぼす有害物質が含まれていることはまぎれもない事実です。2017年に日本禁煙学会と日本呼吸器学会が加熱式たばこにも健康影響がある可能性を警告しました。吸い続けることによって起こる将来の病気や死亡リスク、受動喫煙への悪影響は未知であり、今後の研究報告が期待されています。</p> <p>また、新型たばことして加熱式たばこのほかに電子たばこが販売されています。電子たばことは、専用カートリッジ内の液体を加熱して煙霧を発生させ、それを利用者が吸入する製品です。電子たばこの使用と疾病及び死亡リスクとの関連についても現時点では明らかではありませんが、健康被害を起こすおそれが否定できず、厚生労働省は電子たばこ使用に関する健康影響について情報収集を行っています。</p> <p>そこで、この研究では、当センター受診者における喫煙率や過去喫煙率、利用たばこの種類の割合、さらに紙巻たばこあるいは加熱式たばこ生活習慣因子の関連を検討します。なお、日本では「加熱式たばこ」と「電子たばこ」を混同している喫煙者が多くみられ、加熱式を利用しているにもかかわらず電子を利用していると誤解している人もいるので、今回の分析は、加熱式と電子たばこを合わせて「新型たばこ」として分析します。</p> <p>この研究で、当院における人間ドック健診受診者の喫煙率や過去喫煙者率、利用たばこの割合、新型たばこ利用者と紙巻たばこ利用者の生活習慣や改善に対する意識の違い、さらに禁煙者と継続喫煙者の違いを分析することによって、喫煙者の禁煙を含む生活習慣改善への意識が高まるような適正な保健指導につながることを期待されます。</p> |

|  |   |
|--|---|
| <p>研究の方法<br/>(対象期間含む)</p>  | <p>2023年12月～2025年7月に当センターを受診し、メタボリック関連因子を含む血液検査を行った方のカルテからこの研究に必要なデータを収集し、以下の分析を行います。</p> <p>(1) 喫煙状況<br/>当センター受診者の喫煙率、過去喫煙率、利用たばこの種類の割合、研究対象期間中の禁煙率と使用たばこの種類の割合を算出します。</p> <p>(2) 2群間比較<br/>以下(ア)～(エ)のそれぞれの2群に分けて比較を行います。</p> <p>(ア) 現在非喫煙者(過去喫煙者を含む)と現在喫煙者<br/>(イ) 過去喫煙者と現在喫煙者<br/>(ウ) 現在喫煙者のうち、紙巻たばこ利用者と新型たばこ利用者<br/>(エ) 研究対象期間中に複数回受診した者のうち、その期間内に禁煙した者と継続喫煙者</p> <p>また、研究対象期間中に複数回受診した者のうち、その期間内に禁煙した者と継続喫煙者について、上記の項目における変化を比較します。</p> <p>上記(1)(2)を分析することで、喫煙者の禁煙を含む生活習慣改善への意識を高めていただけるような適正な保健指導の施行につながることを期待できます。</p> |
| <p>試料・情報の利用目的及び<br/>利用方法<br/>(匿名加工する場合や他施設へ提供<br/>される場合はその方法を含む)</p> | <p>対象となる方のカルテから収集した情報は、この研究にのみ利用します。</p> <p>氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人を特定できる情報は収集せず、この研究固有のIDに置き換えますので、特定の個人が識別されることはありません。</p> <p>この研究の結果は、学術論文や学会などで公表する予定ですが、この場合であっても、特定の個人が識別されることはありませんので、ご安心ください。</p> <p>なお、この研究の対象となる方から自分の情報を使用してほしくない等の連絡があった場合は、その旨を記録し解析には用いません。</p>   |
| <p>利用又は提供する<br/>試料・情報の項目</p>   | <p>人間ドック健診カルテ情報(年齢、性別、メタボリック関連因子(BMI: Body Mass Index、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、LDL-C、HDL-C、中性脂肪、空腹時血糖、HbA1c、尿酸)、生活習慣病の有無や治療状況、生活習慣(喫煙、飲酒、運動、食事、睡眠)、利用するたばこの種類、生活習慣改善に対する意識、同居人の有無)</p>  |
| <p>試料・情報を<br/>利用する者の範囲</p>   | <p>本研究に携わる横浜市立みなと赤十字病院の健診センターの職員<br/>研究責任者: 伊藤美奈子<br/>研究分担者: 菅野みほ、守岡謙、安倍美枝、角谷沙織、小泉澄夏、熊谷心</p>  |
| <p>試料・情報の管理における<br/>責任者の氏名又名称<br/>(当院及び提供先)</p>                      | <p>横浜市立みなと赤十字病院 所属 健診センター 氏名 伊藤 美奈子</p>   |
| <p>問い合わせ先</p>  | <p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ<br/>〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1<br/>横浜市立みなと赤十字病院 所属 健診センター 氏名 伊藤 美奈子<br/>TEL:045-628-6100(代表) 内線3808(事務局) / FAX:045-628-6101</p>  |